



# 三次中央会報

ロータリークラブ

事務所/広島県三次市十日市東1-16-19  
TEL (0824) 64-1245  
FAX (0824) 64-1245  
E-mail m-o-rc@vega.ocn.ne.jp  
http://mrcr.server-shared.com

例会場/広島県三次市十日市南1-10-1  
三次グランドホテル

例会日/月曜日 12:30~13:30

会長/栗本清秀  
幹事/杉谷優次

2020-2021 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

■本日のプログラム ゲスト講演/ロータリー財団担当  
地区ロータリー財団委員 明山晃映様(三次RC)

■次回例会日時 2021年11月15日(月)

■次回プログラム RI第2710地区ガバナー公式訪問

ガバナー 杉川 聡様

ガバナー随員幹事 遠崎秀一様

●2021~22年度 国際ロータリーのテーマ



華仕しようみんなの人生を豊かにするために

●2021~2022年度 三次中央RCスローガン  
クラブの魅力を共有し、  
友を増やそう

## ■第1333回例会記録

●日時.....2021年11月1日(月) 12:30~

●点鐘.....会長

●国歌「君が代」斉唱.....全員

●ソング「我らの生業」.....全員

## ●ゲスト紹介

RI第2710地区G-12ガバナー補佐 増田茂典様

// ガバナー補佐幹事 藤後敏彦様



■開会挨拶.....栗本会長

## 人生の「まさか」の坂、慌てず慎重に

皆さん、こんにちは。今日から11月になりました。朝晩は冷え込みを感じ、日中はようやく秋の訪れが感じられる気候になりました。

本日はガバナー補佐事前訪問です。増田ガバナー補佐様、藤後随員幹事様、のちほどよろしくお願ひいたします。

昨日は衆議院議員総選挙が行われ、大枠では大きな転換は無いようですが、それぞれの範疇では、大きな変革や民意の厳しい判定があった部分も感じられます。

皆様ご存じだと思いますが、仕事や人生には三つの坂があるとよく言われます。

一つ目は上り坂、万事が好調でなにをやってもうまくいく時です。

二つ目は下り坂、不調に陥り、まったくうまくいかない時です。

そして三つ目が「まさか」という坂です。「まさ

か」は予測のできない時に油断もしくは目測を誤っている時に、突如として現れます。

当事者の方は、終盤で予想ができた方も多いたと思いますが、一般人には分かりかねます。

昨日の夜は日本各地のテレビの前で「まさか」とかいう言葉が発されたのではないかと思います。

予測のできない「まさか」の坂ですが、現れた時には、慌てず慎重に対処したいものです。

以上で会長挨拶を終わります。



■「四つのテスト」唱和……………中島職業奉仕委員長

■幹事報告……………杉谷幹事

●11月15日(月) ガバナー公式訪問

例会後にフォーラム 13:00~15:10

各委員会の委員長以上、入会3年未満の会員は出席義務者となります。

その他お時間のとれる方もご出席ください。

●ガバナー月信の新会員の欄に園道会員が掲載されております。

●米山記念奨学会寄付は来週月曜日を締め切りいたします。

■出席報告……………中西委員長

●第1331回 10月11日

会員数	36名	Make-up	0名
欠席	6名	出席合計	30名
欠席者のうち欠席免除	2名	出席率	88.24%

●第1333回 本日の出席は36名中30名です

■SAA……………小根森SAA

●ガバナー補佐増田様ニコニコBOXご出宝

…本日はよろしくお願ひいたします(大)

●会員ニコニコBOXご出宝



栗本君 増田ガバナー補佐、藤後幹事をお迎えて。

杉谷君 増田ガバナー補佐、藤後幹事をお迎えて。

中島君 今日のは月初めの例会です。「四つのテスト」よろしくお願ひします。

井上幸三君 良い事がありました。ツバメが元気に飛んでいます。

安藤君 キンモクセイのすがすがしい香りが1ヶ月遅れて広まっています。お楽しみください。

「ガバナー補佐、補佐幹事をお迎えて」

沖君、平田君、上田君、石田君、酒井君、信国君、沈君、小根森君

ニコニコBOX本日出宝額 18,000円

会員ひろい話

広島三次ワイナリー 山縣会員

【ヌーボー解禁!】ワイン&フードフェスタ2021

10月30日(土)、いよいよ「三次ピオーネヌーボー」が解禁しました!

解禁に合わせて三次ワイナリーでは10/30、31の両日ワイン&フードフェスタ2021を開催しました。会場では3種類のヌーボーとキッチンカーによる「食」をお楽しみいただきました。

<出店店舗>

■la roulotte (ガレット・クレープ)・・・フランス人のお店

■イタリア人の店(窯焼きピザ)

■キャンディースキッチン(キューパサンド・スコーンサンド)

■Little Bee(チュロスほか)

■道草食堂はらっぱ(発芽玄米ごはん・季節のスープ)※10/30のみ

■SAKE Bar ゆう(焼き小籠包ほか)※10/30のみ







第 2710 地区 G-12  
ガバナー補佐  
増田 茂典

あらためまして皆様こんにちは。今年度G12ガバナー補佐を務めさせていただく増田と、藤後ガバナー補佐幹事です。どうかよろしくお願いいたします。

会長幹事様におかれましては、コロナ禍でのクラブ運営では中止や延期などの判断や手配で大変ご苦労されていることと思います。2か月遅れではありますが、本日のクラブ協議会を開催いただくことができ、再来週のガバナー公式訪問も無事開催できることを祈るばかりです。

## 会員増強について

信国秀昭



会員の皆様には既にお伝えしており、お耳障りかと存じますがお許し願います。

去る4月25日、国際ロータリー第2710地区2021-22年度地区協議会がZOOM会議で行われ、次の様な基本方針が示されました。

### 地区基本方針

1. 地区会員増強指針(会員50名以下のクラブは純増1名以上の実現)
2. 女性会員や若い会員の入会促進
3. 退会防止策の立案とその実行による現状会員数の維持
4. 新会員(入会3年未満)への継続的で、家族的かつ丁寧なインフォーマルミーティングの奨励

さて、その公式訪問は、今年度のRI会長テーマ及び、会長テーマに基づくガバナーの地区運営方針を各クラブに出向いて説明すること、その後のクラブフォーラムで、クラブの現状や活動状況、課題や疑問などをテーマごとでお話しいただき、ガバナーからはクラブで参考になりそうなお話をいただき、今後のクラブ運営に活かしていただくことが主な目的と考えております。

そして、本日のクラブ協議会の目的は、お話しいただいたクラブフォーラムの概要をガバナーにお伝えして、ガバナーに再来週のクラブフォーラムに向け、課題の解決策や疑問への回答等、備えていただくことが主な目的となります。

本日は、信国会員から増強活動について、そして小根森会員から多様性への対応についてお話しくださいようお聞きしております。それでは、信国会員、小根森会員よりよろしくお願いいたします。

等でございます。

2021-22年度会員増強委員会では、地区重点方針である「会員基盤の強化：会員数の増加と会員数の維持・退会防止に柔軟な対応」を実現する事を目的として活動いたします。

次に、来る11月15日開催されますガバナー公式訪問に於いて発表予定の内容をご紹介します。

クラブ運営の中で、会員増強はロータリークラブのみならず、あらゆる組織の最大テーマであると考えます。

一つの目標にむかって、常に活性化を目指し組織を構成する会員が思いやりをもち共に行動していく！まさに「四つのテスト」にある「好意と友情」を深め「みんなのためになるかどうか」を実践していくことが理想であり、その様に心がけることが退会防止と会員の増強につながるのではないのでしょうか。

今年度会員増強・選考・職業分類委員会としての活動計画は、クラブスローガンである「クラブの魅力」を共有し、友を増やそう」そして会員相互の親睦



と交流を深め、退会防止と会員増強に努めます。と大きく掲げました。

特に注力したいことは、女性会員並びに若い会員の勧誘に努めることです。現在わがクラブには(6名)の女性会員が在籍しております。第2710地区で初めての女性会員が誕生したのは当三次中央クラブという歴史もございます。現在では女性が社会で活躍する時代です。そうした状況を鑑みつつ増強に努めて参りたいと思います。

現在当クラブの年齢別構成は、今年2月のデータで申しますと平均年齢66歳でございます。こうして見ると高齢化が随分進んでいることがわかります。当クラブの取り組みといたしましては、以前も当クラブで実践いたしました、全会員で増強チームを構成し、それぞれが新会員候補を推薦し、リーダー会議で選考していく方法です。そうすることにより全会員が増強に携わって参ります。さらに候補者を例会に招き、クラブの雰囲気を感じていただき少しでもクラブに馴染んでいただきます。そうした活動を全会員で取り組んで参りたいと考えます。こうした活動を通して会員基盤の強化に努めて参りたいと考えております。

次に、退会防止策について思う事は、まず入会に際しロータリークラブの実情をしっかりと伝えることにあると思います。推薦者はもとより情報委員会、増強委員会が連携しロータリーの目的をはじめ、クラブの歴史や伝統、さらに中央ロータリークラブの活動内容など出来る限り詳しく伝えることが重要であると考えます。

ややもすると上辺だけに留まり、本質を伝えられず、入会后「こんなことは聞いてなかった」「これがロータリーとは思わなかった」そんな思いがつのり、退会につながっていくことは無いでしょうか?クラブ入会后3年未満で退会者が多いと聞きます。勧誘の時こそ、楽しい事ばかりでなく、厳しい事も伝えていく必要があると思います。そして入会后は新入会員セミナーを開催し親睦と融和を深める事。そして推薦者を中心に、目くばり・気くばりをし、共に支えあい共に成長していけたらいいなあと思います。そのことが必ず退会防止につながる事になると確信しております。

最後に、ガバナーにお伺いしたいことがございます。「ロータリーの魅力」と何でしょうか?

## 会員増強について<信国会員の発表を受け>

増田ガバナー補佐

G12の会員数の状況/三次中央36名、三次39名、古舎13名、東城18名、庄原29名(合計135名)  
日本全体/会員9万(人口10万当り会員約75人)、  
広島/会員880人(人口10万当り会員約73人)  
三次/会員88名(人口10万当り会員約169人)

三次中央さんも三次もほぼ規模が同じなので同様ではないかと思うのですが、会の運営上、40名以上を目指さないと予算的にも人員的にも厳しいものがあると思います。ただ、景気が低迷する現状では、なかなか増強も厳しいものがあり、ご担当として苦勞されておられることと拝察いたします。

会員数の状況(上記)からすると人口に対する会員数の比率は、日本全体や広島に比べ倍以上と、頑張られているのは確かなので、自信を持たれて引き続き緩めず増強活動に努めていただければと思います。

ご質問のあった「ロータリーの魅力は何か?」については、ガバナーに事前にお伝えしておきます。



### 三次中央 RC における ダイバーシティ

小根森直子

ダイバーシティという言葉ですが皆さんどうでしょうか。その意味をよくご存知でしょうか?私は不勉強ながら聞いたことはあるけれど意味はよく知らないでおりました。

この度発表という機会をいただき少しは勉強できたかなと思っております。先日いただきましたロータリーの友の10月号にロータリーとしてのダイバーシティの捉え方が掲載されておりました。ダイバーシティとは多様性という意味だそうです。人々は年齢、民族、障害、宗教、文化、性別、性的指向などにおいて実に様々な多様性を持っております。その多様性を認め受け入れ尊重すること、そしてロータリーのあらゆる

側面で公平さを促進していく必要性があると書かれています。また、国際ロータリー第2710地区の本年度のガバナー月信ではガバナーと各界で活躍される会員の方とのダイバシティをテーマにした対談が連載されており具体的にどう行動しているのか私たちに示してくださっています。

多様性の内容は様々ですが、今日私は女性ロータリアンとして男女間のダイバシティについて思うところを述べさせていただこうと思っています。

さて、私がロータリーに入会したのは1999年4月、22年前のことです。ちょうど桜の季節で会長幹事さん理事の皆さんで歓迎会を開いてくださいました。八幡神社の裏庭の桜の下でお弁当をいただいたのを覚えています。その時のことで大変に印象深かった事があります。それはやかんのお茶を私が注いで廻ろうとしたときの事です。ある会員さんが「せんでええよ、ロータリーは男も女ないんじゃけえ」と言われました。私がロータリーはそうなのかと感動していると他の会員さんが「注いでくれるって言うてるんだからええじゃないか」と言われたのです。私はそちらにも感動しました。私の自由にさせていただいているのが嬉しかったのです。その時はじめてロータリーでは男女を意識せずに行動していいのかなと思いました。その意識が今も続いておりまして私はこのクラブで女性だからどうだといった考えで行動したことはあまりないと思います。男性会員の皆さんも男女の区別なく接してくださっていると思います。当クラブの他の女性会員の皆さんもそれぞれに個性を発揮され楽しんでおられますし、理事役員として活躍もされています。そういった、会員一人ひとりの特性を認めて応援する風土がこのクラブにはあると自負しております。

ただ、現状としてかつて地区の中でも指折りに多かった女性会員の人数は今や6名、14%程度になってしまいました。どうすれば女性会員を増やすことができるのか大変に悩ましいところです。

最近ではコロナのこともあり開催されていませんが、私は地区の女性会員の集いにずっと参加しております。そこでは皆さんの本音を聞くことができました。どのクラブでも女性会員はのびのびと能力を発揮されています。しかし女性会員ならではの悩みもあります。家庭との両立、経済的な面、夜の会合、古い男

性社会の考え方との葛藤。ダイバシティで最も大切なのはお互いの長所、強みを認めて受け入れることだけでなく弱い面、短所ともとれる面も受け入れることかと思います。またさらに言えば弱い面をお互いに遠慮なく出し合って補い合うことができたならとても素敵な組織になるのではないのでしょうか。

2011年4月、私は地区のGSEのリーダーとして4人の若者と共にアメリカに派遣していただきました。その時の前田ガバナーに何故私を選んでくださったのですかと聞いたことがあります。ガバナーは「女性の活躍が大切と思ったらその機会をどんどん作って用意しなくてはいけない、行動しなくては進まないのだ」といわれました。私たち女性もそういった機会を大切に捉えて行動していくことが必要なのだと思います。しかしながら無理は続きません。個人の弱みもしっかりと見ていただいて助けてもらいながら特技を生かしてクラブ活動を楽しんでいきたいと思っています。

まとまらない話で申し訳ございませんでしたが、今日はこういった機会をいただき本当にありがとうございました。

#### 多様性について<小根森会員の発表を受け>

増田ガバナー補佐

三次中央さんが地区内での女性会員の先駆けとなられていること、小根森さんの20数年の実績の中で感じられている男女間の多様性については深く重みのあるお話だと思いました。

女性にとって、家庭的、経済的、時間的（特に夜間）な制約があるということ、それらを夫婦間や会員同士補い合うことができたというお話もその通りだと思いました。

個人個人の弱みをともしれば強みとして、前に向きどんどん機会を作っていかなければならないというバイタリティーにあふれるお言葉に感銘しました。そうしたお姿が新たな女性会員さんのたまごに届くといいなと思います。

信国会員、小根森会員、概要についてお話しいただきありがとうございました。早速、本日聞かせていただいたことをまとめてガバナーに報告し、来週のクラブフォーラムの参考にしていただきたいと思います。



さて、それでは、残り時間は、多様性について思うことを延べさせていただき、参考になれば幸いです。

多様性には、性別・年齢・国籍などの属性的条件と、信仰する宗教、価値観、ライフスタイルなどの思考的条件があるとされます。

属性的条件については、思っていた以上に理解していないことに気づく機会があり、自分自身驚いているとともに考えを改める必要を感じているところです。思考的条件については、本人の言動でしか伺い知ることはできない価値観やライフスタイルが、本人の知識や経験値の幅によって変わり、本当に本心による言動なのか、何かの制約で本人自身の意思に反した言動をしていることも考えられ、多様性の受容や相互理解をより難しくしているのではないかと考えます。

例えば、タリバンが権力を掌握したアフガニスタンで、女性が抑圧されるのではないかと心配がありますが、国際政治学者の高橋先生によれば、全てのアフガン女性がそう考えているとは、一概には云えないそうです。西洋文化に慣れ親しんだカブールの富裕層では、ファッションや娯楽などの自由が損なわれることを恐れているけれど、地方に広がる山岳地帯の貧しい女性にとって、ある一定の制約—ひとりでの外出禁止、体全体をすっぽり覆うブルカの着用義務などの風習は、昔から普通にあることで、不自由ではあるが苦には感じないと思っている女性の方が多いのではないかと。

逆に、支援や治安を疎かにし、私腹を肥やしてきた前政権より、治安を守ってくれるタリバンの方がベターだと考えているから、タリバンが地方から勢力を盛り返したともいえる—と話されていました。

多様性を受け入れるというのは、ブルカなどの着用の義務付けや、西洋文化の嗜みなどへの制約が、ベストではないにしても別のメリットで素直に受け入れられているとしたなら、それも多様性の一つとして受け入れるべきなのではないでしょうか。でも、教育の機会を得られず、広い視野で物事を判断することができないなどエンパワメントを享受できないまま、今現在与えられている環境が当たり前と思い込んでいて、そのような制約に甘んじているとすれば、単純には尊重できないし、仕方なく耐え忍んでいる方もいるとすれば、判断するのはますます難しいことではないかと。多様性を否定するような考えもひょっとして多様性の一つだといえるのだろうかと考えだすと混乱してしま

ます。

先日お亡くなりになった日本被団協の坪井さんが、子どもたちに「どんどん外に出て、いろんな意見や世界があることを知り、お互い理解し合うことが怒りや恐怖を抑え、それが核抑止につながる。ぜひ広い視野を持って行動して下さい」と事あるごとに話されていたそうです。

多様性を受け入れ相互理解をするためには、自分の主義主張を押し付けるのではなく、相手を尊重し、意見に耳を傾け、相手の立場に立ち、お互いの居場所や考えをシェアすることにあると思うのです。多様性社会の実現に必要なものは、まさに、ロータリーの寛容の精神そのものではないか思います。

また、単純に相手の考えを尊重するのではなく、相手が自分の考えを持たされていない、第三者からの圧力でねじ曲げられた本来の自分の考えではないなどは、正す方向に導くことも必要ではないかと思うのです。しかし、そこには違う考えや価値観が絡み、その人にとって正しい方向とは何なのか判断するのは非常に難しい問題で、多様性の奥深さと難しさを実感しているところです。

多様性について、会員の一人としてクラブで時間をかけじっくり議論していければなと思っています。

ロータリー活動において単純に考えれば、クラブで年齢差により生じる世代間ギャップをどう埋めるかも多様性をどう受け入れるのが良いのかを考えるきっかけに繋がるでしょうし、会員の少ない年齢層（例えば、年配の方が少ないとか、若い方が少ないとか）や女性会員の方が居心地よく参加できる環境を整え、マイノリティーの退会者を少なくしようと努めることが、多様性を尊重し、退会を防止することにも繋がってくるのではないかと考えます。



■謝辞……………栗本会長  
■点鐘……………栗本会長